

「介護予防通所介護」「介護予防通所リハビリテーション」における 生活行為向上支援（仮称）のイメージ（案）

9

あるようになる生活行為

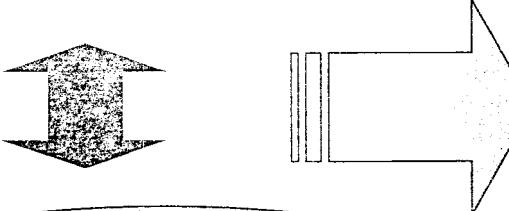
アセスメント（特に生活行為）

予防通所サービス計画の作成
(目標、実施の計画)

生活行為向上支援（仮称）

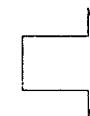
「できる生活行為」
の向上を目指す

連携



「している生活行為」
の向上を目指す

在宅生活への
定着を目指す



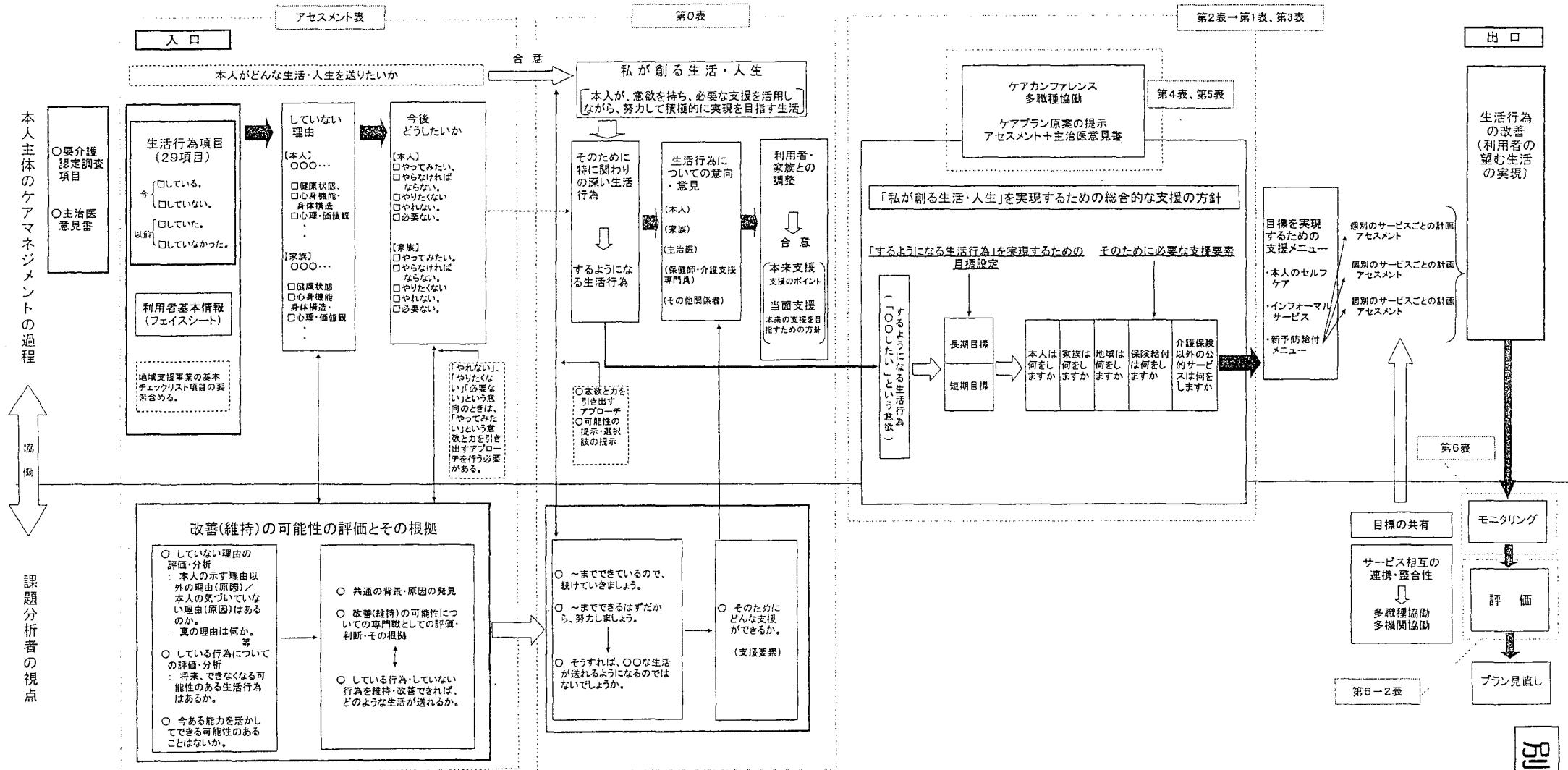
定期的モニタリング（特に生活行為）

※新予防給付アセスメントを通して
「介護予防サービス計画書」に位置付けられ、それにより個別サービスごとのアセスメントにつながる。



他の介護保険のサービス、地域における介護保険以外のサービス 等

アセスメント・ケアプランの構造（案）



別紙2

得意なところ、強いところと一緒に探してみましょう

質問する生活行為	
1	定期的に入浴、又はシャワーで身体を清潔にしている。
2	肌や顔、歯、爪などを手入れして、きれいにしている。
3	トイレをきちんと自分で済ませている。
4	場面や天気、季節にあわせて着るものや履き物などを着用している。
5	健康のために食事や運動、休養などに気を付けたり、検診を受けている。
6	薬を飲み忘れず、管理している。
7	日常に必要な品物を自分で選んで買っている。
8	自分や他人のために、献立を考え、食材をそろえ、調理、配膳をしている。
9	家の掃除、ゴミ捨て、洗濯を行っている。
10	簡単な家の修理や電球の交換、植物の水やり、ペットの世話をしている。
11	家族や友人のことを心配したり、相談にのっている。
12	同僚、友人、近所の人と良好な関係をつくり、保っている。
13	良好な親子、兄弟、親類関係をつくり、保っている。
14	良好な夫婦関係をつくり、保っている。
15	仕事を続けている。(自営業の店番、田んぼの見回りなどを含む)
16	ボランティアや奉仕活動など人の役に立つことをしている。
17	預貯金の出し入れを行っている。
18	友人を招いたり、友人の家を訪問している。
19	趣味や楽しみがあり、続けている。
20	候補者を決め、投票している。
21	家族、友人などと会話している。
22	家族、友人などと連絡するために、手紙やメールを出している。
23	家族、友人などと電話で話している。
24	自宅内を円滑に歩行している。(杖なし、杖あり、車イス)
25	自宅以外の屋内を円滑に歩行している。(杖なし、杖あり、車イス)
26	屋外を円滑に歩行している。(杖なし、杖あり、車イス)
27	移動のために、バスや電車、他人が運転する自動車などを使っている。
28	自分で自動車や自転車などを使って、移動している。
29	日常生活に関する内容については自分で決めている。

第0表（新予防給付用）(1)

利用者名 _____

作成年月日 年 月 日

私が創る生活・人生（目指す生活・人生） (本人が意欲を持ち、必要な支援を活用しながら、努力して積極的に実現を目指す生活)	1日の生活	
	1週間又は1ヶ月程度の 単位での生活	
	もっと長い(半年、1年程 度)生活	

私が創る生活・人生の実現のために特に関わりの深い生活行為		ケアプランを作成するための分析			
		本来の支援		当面(本来の支援ができない場合)の支援	
(1) するようになる生活行為	(2) (1)についての意向・意見	(3) 支援のポイント(生活不活発病 の改善・予防の要点)	(4) 支援要素	(5) 当面(本来の支援ができない 場合)の支援要素	(6) 本来の支援を目指すための今 後の方針
	(本人) (家族) (主治医) (保健師・介護支援専門員) (その他関係者)		(本人) (家族) (地域) (介護保険のサービス) (介護保険以外の公的サービス)		
	(本人) (家族) (主治医) (保健師・介護支援専門員) (その他関係者)		(本人) (家族) (地域) (介護保険のサービス) (介護保険以外の公的サービス)		

(注) (2)について新規の場合は、「主治医」と「その他関係者」の欄には、記入されない場合もある。

(5)については、本来導入すべきサービスではなく、代替するサービスを利用せざるを得ない場合のサービス要素を記載する。

